

広報

もりまち

Morimachi Public Information 2018

平成30年

11月号

No.743

特集

森町を語る会2018..2

〈注目記事〉 空き家、空き地バンクにご登録を..12
森この人/森のいしぼん作者・日比野里映さん..20

明治時代から献上に携わる太田家の柿園で、献上柿を採果する5代目の太田知宏さん

心を込めて!皇室に献上する次郎柿を収穫

皇室に献上する「次郎柿」の採果が、代々献上に携わる太田家と農協柿部会員の柿園で行われました。次郎柿の献上は明治41年に始まり、今年で105回目。色づきや形の良いものを厳選した120個が献上されました。

森町を語る会

2018

町民との対話で進めるまちづくり



西幸町町内会・森町を語る会のようす（西幸町公民館）

住民意見を今後のまちづくりに反映

町民との対話による町政運営を目指す太田康雄町長は就任以来、「町長と語る会」を町内6地区で開催してきました。今年度は形を変え、開催を希望する町内会に出向き、太田町長と町職員が地域の皆さんとより間近で語り合う「森町を語る会」を開催しています。申し込みのあった8会場15町内のうち7会場で実施し、地域課題の解決や活性化策のほか、これからの森町について活発な意見交換を行いました。

フリートークで意見交換

各会場では、フリートーク形式で地域の皆さんから貴重な意見・提案を伺いました。町では、町民の皆さんからいただいたご意見を十分に検討するとともに、今後の町政運営の参考とさせていただきます。

町内会
南町公民館
参加者 39名

町内会
南町公民館
参加者 39名

問 南町地区の都市公園（駅東公園・北見公園）は町管理であるため、雑草等が生い茂っていても住民は手を出しにくい。地域の住民でも草刈りや花植えなどを行えるようにすれば、快適な住環境を官民協働で実現できるのではないかと？

答 公園については、予算の範囲内で草刈りを年に2〜4回、樹木の剪定を年1回程度で実施している。夏場は2〜3ヶ月で雑草が生い茂り、これで充分とは町も考えていない。町の管理が及ばない時期に、地域の皆さんで公園の管理をしていただければ、町は大変ありがたい。南町では、これまでも「南町ボランティアクラブ」が「協働のまちづくり推進事業」で堤防の桜の枝切りなどの環境

美化に努めていただいている。公園の管理についても同じような形で取り組んでもらえば、町としても補助金交付という形で協力させていただきたい。

問 南町地区では、周辺企業による事業規模の拡大が相次ぎ、物流関係の大型トラックの出入りや、通勤車両の通行量が増えた。町内に企業が増えうれしい反面、道路は狭く、南町交差点は右折車線がないために、通勤時間帯に後続車が詰まってしまふ。企業側も配慮して迂回してくれているが、細い道で交通量が多いのは心配。

答 南町交差点は、県道掛川天竜線と町道が交差しており、特に県道の交通量が朝の通勤時間帯に多く、右折で渋滞が発生している。町でも承知しており、県道の交差点改良であるために県に対して要望している。要望すればすぐにやってくれるものではないが、



南町町内会の皆さん（南町公民館）

今後も引き続き、要望を続けていきたい。

問 自主防災資機材のうち、例えば水機については薬品も古くて使い物にならない。実際に役立つ資機材の配布をお願いしたい。また、町内会独自で防災資機材を購入する場合は、費用を補助してもらえないか？

答 水機は、平成2年頃に23町内会と、希望する町内会に配備した。消耗品や薬品は、各町内会で更新をお願いしている

が、不用であれば引き取らせていただく。自主防災資機材については、現在は町で購入したものを各町内会に配布しているが、必要な災害備品はそれぞれ違うということで、各町内会が用意した備品に対して補助ができないか研究を行っている。予算にも関わることであり、現在検討中である。

その他の意見（抜粋）

● 駅東公園・北見公園には公園の銘板が無いので、設置してほしい。

● 町道新田下宿線（天浜線ガード下から吉田商店の区間）は、複数の事業所が立ち並ぶなど交通量が多い。小・中学生の通学路であるため、速度規制やスクールゾーン設置などの対策を！。

● 都市計画道路新田下宿線の都市計画決定の変更をしてほしい（昭和45年の計画決定当初から何も進展していないが、近隣住民の土地には建築制限がかかり、自由に家が建てられないため）

町内会
向天方下公民館
参加者 39名

問 （株）サラダクラブの第二幸治橋までの町道は道幅が狭く、保育園の送迎車や大型トラックなどのすれ違いが困難。町議会で道路拡幅工事の請願が承認されたが、具体的な工事概要（内容・期間など）を説明してほしい。

答 本路線は、向天方上・下町内会から同地区の主要道路であるので整備をお願いしたいとの要望があり、平成18年度から少しずつ拡幅を進めている。拡幅完了区間から第二幸治橋までの道路幅員は一番狭いところで約3.5メートル。道路拡幅工事には、多額の費用が必要であり、測量設計まで含めると4〜5年の事業になる。また、用地買収を伴うために地権者の了解と地元の合意がまず必要となり、企業や保育園保護者にも協力をお願いしないといけない。さまざまな合意形成がなされた上で事業着手になるので、時間と手間がかかることはご理解いただきたい。町の全体

予算・財政状況を見ながら今後の事業を進めていく。

問 全国的には7件に1件が空き家であり、向天方でも管理上の問題がある空き家が多い。空き家バンクに登録できないような廃屋を何とかするのが一番の課題では？地域で困っている空き家の対処法は？

答 空き家は個人の財産であるため、所有者にしっかりと管理してもらうのが原則。空家対策等特措法により「特定空家」に認定して法的に処理をする形もあるが、それは最終手段。町が強制代執行という形で撤去を行っても、所有者が費用を払わない場合は、町の負担になる。周囲に危険を及ぼす空き家については、町からも所有者に対応を呼びかけているが、近隣住民からお願いの方が効果的な場合もある。

問 水害や土砂災害を含めて避難指示はどういう基準で出されるのか？災害発生時の避難指示や避難場所、避難経路等災害が発生した後の住民の生活をどのように守るのか教えてほしい。

答 森地区（新町地区）と天田川の水位計があり、140cmを超えたら消防団が待機。190cmを超えたら氾濫注意水位。さらに水位が超えていきそうな場合に避難勧告、指示を出す。避難勧告や指示に目安はあるが、気象状況を総合的に見て危険と判断したら避難勧告等を出す。



向天方上・下町内会の皆さん（向天方下公民館）

問 向天方の避難場所は森地区のアリーナだが、緊急の一時避難先として、森町営グラウンドを使ってもよいのか？

答 命に関わる場合は一時的に緊急避難所として利用しても構わないが、時間が経てば指定避難所に避難してい

町内会
西幸町公民館
参加者 30名

9月20日開催

問 西幸町ではいち早く下水道整備が行われたが舗装状態が悪く、継ぎはぎだらけの道路になっている。道路の側溝には、段差や凹みがあるためかなり危険。今後3年間にわたって水道管の更新が行われるので、この機会に道路の全面舗装をしたらどうか？

答 西幸町の下水道工事は、平成17年～19年にかけて下水道管を埋設し、掘削した部分を舗装した。平成13年のガスの埋設時と同様に掘削部分の舗装をやり直したため、継ぎ目の多い舗装となっている。道路舗装の耐用年数は20～30年とされているため、全ての舗装をやり直すことは難しいが、今年度から3年間をかけて水道管を更新していくので、その中で特に痛みがひどい箇所については、町内会と相談しながら対応していきたい。経年劣化や段差がある側溝については承知をしており、計画的に更新を進めさせていただいているが、一度に

町内会
上問詰公民館
参加者 54名

9月14日開催

問 天方地区でも高齢化が進んでいるが、免許返納後の高齢者の生活の足について、町では対策を考えているか？

答 町では、免許証を自主返納した際に発行できる運転経歴証明書の手数料1,100円を助成している。運転経歴証明書があれば、65歳以上の人が県内のタクシーに乗る場合はタクシー運賃が1割引になる。また、「袋井ファミリーサポートセンター」に登録していただくと、協力会員が買い物や通院の付き添いなどトータルな支援をしてくれる。現在、町では移動支援担い手養成講座（仮称）を計画。ボランティア

町内会
森町公民館
参加者 44名

9月21日開催

問 森町の小中学校再編について、子供たちの教育環境は実際にどうなるのか？（学校が無くなるのは地域にとって死活問題、保護者の意見を再度聞いてほしい、時間をかけて議論を進めるべき、大人数での生活は高校からでは遅いのか、三倉・天方小による段階的な合併はどうか、など多数）

答 6月の総合教育会議で教育委員会から提案され、町長として同感したのは「児童・生徒の人間としての成長に重点を置いて再編を考えていく」というものであった。喫緊の課題として、三倉小・天方小を統合しただけでは、複式学級を解消することはできず、学校の本来あるべき姿を求めている必要がある。泉陽中を森中へ、三倉・天方小を森小へ統合するのは、喫緊の課題を解決するための第1段階。そこで検討が終わるわけではなく、将来的には中学校を1つにすることを視野に

町内会
若宮公民館
参加者 44名

9月21日開催

問 森山団地に通じる町道（赤道）があり、住民が草刈りや掃除をしているが、町で管理してほしい。

答 7月の台風で避難所が開設されたが、開設が遅く危険を感じた。晴天時から避難準備等の情報を出し、早期避難を可能にするべき。

問 幼稚園に洋式トイレが一つしかなく困っている。

答 移住希望者は土日に多く来町されると思うが、対応はどうしているか？

町内会
若宮公民館
参加者 44名

9月21日開催

問 初期消火への対応として、町内に消火器やホースを設置してほしい。

答 初期消火の場合は有効だが、建物火災が発生しているときに消火器で屋外から消すのは、一般人には危険だと考えている。初期消火への対策としては、以前から町内会長さんと消火栓付近に「消火栓ホース格納箱」を設置しようと協議をしている。今年度中に設置できるように準備を進めたい。

町内会
上問詰公民館
参加者 54名

9月14日開催

問 天方地区でも高齢化が進んでいるが、免許返納後の高齢者の生活の足について、町では対策を考えているか？

答 町では、免許証を自主返納した際に発行できる運転経歴証明書の手数料1,100円を助成している。運転経歴証明書があれば、65歳以上の人が県内のタクシーに乗る場合はタクシー運賃が1割引になる。また、「袋井ファミリーサポートセンター」に登録していただくと、協力会員が買い物や通院の付き添いなどトータルな支援をしてくれる。現在、町では移動支援担い手養成講座（仮称）を計画。ボランティア

町内会
森町公民館
参加者 44名

9月21日開催

問 森町の小中学校再編について、子供たちの教育環境は実際にどうなるのか？（学校が無くなるのは地域にとって死活問題、保護者の意見を再度聞いてほしい、時間をかけて議論を進めるべき、大人数での生活は高校からでは遅いのか、三倉・天方小による段階的な合併はどうか、など多数）

答 6月の総合教育会議で教育委員会から提案され、町長として同感したのは「児童・生徒の人間としての成長に重点を置いて再編を考えていく」というものであった。喫緊の課題として、三倉小・天方小を統合しただけでは、複式学級を解消することはできず、学校の本来あるべき姿を求めている必要がある。泉陽中を森中へ、三倉・天方小を森小へ統合するのは、喫緊の課題を解決するための第1段階。そこで検討が終わるわけではなく、将来的には中学校を1つにすることを視野に

町内会
若宮公民館
参加者 44名

9月21日開催

問 森山の小中学校再編について、子供たちの教育環境は実際にどうなるのか？（学校が無くなるのは地域にとって死活問題、保護者の意見を再度聞いてほしい、時間をかけて議論を進めるべき、大人数での生活は高校からでは遅いのか、三倉・天方小による段階的な合併はどうか、など多数）

答 6月の総合教育会議で教育委員会から提案され、町長として同感したのは「児童・生徒の人間としての成長に重点を置いて再編を考えていく」というものであった。喫緊の課題として、三倉小・天方小を統合しただけでは、複式学級を解消することはできず、学校の本来あるべき姿を求めている必要がある。泉陽中を森中へ、三倉・天方小を森小へ統合するのは、喫緊の課題を解決するための第1段階。そこで検討が終わるわけではなく、将来的には中学校を1つにすることを視野に

町内会
若宮公民館
参加者 44名

9月21日開催

問 森山の小中学校再編について、子供たちの教育環境は実際にどうなるのか？（学校が無くなるのは地域にとって死活問題、保護者の意見を再度聞いてほしい、時間をかけて議論を進めるべき、大人数での生活は高校からでは遅いのか、三倉・天方小による段階的な合併はどうか、など多数）

答 6月の総合教育会議で教育委員会から提案され、町長として同感したのは「児童・生徒の人間としての成長に重点を置いて再編を考えていく」というものであった。喫緊の課題として、三倉小・天方小を統合しただけでは、複式学級を解消することはできず、学校の本来あるべき姿を求めている必要がある。泉陽中を森中へ、三倉・天方小を森小へ統合するのは、喫緊の課題を解決するための第1段階。そこで検討が終わるわけではなく、将来的には中学校を1つにすることを視野に

町内会
若宮公民館
参加者 44名

9月21日開催

問 森山の小中学校再編について、子供たちの教育環境は実際にどうなるのか？（学校が無くなるのは地域にとって死活問題、保護者の意見を再度聞いてほしい、時間をかけて議論を進めるべき、大人数での生活は高校からでは遅いのか、三倉・天方小による段階的な合併はどうか、など多数）

答 6月の総合教育会議で教育委員会から提案され、町長として同感したのは「児童・生徒の人間としての成長に重点を置いて再編を考えていく」というものであった。喫緊の課題として、三倉小・天方小を統合しただけでは、複式学級を解消することはできず、学校の本来あるべき姿を求めている必要がある。泉陽中を森中へ、三倉・天方小を森小へ統合するのは、喫緊の課題を解決するための第1段階。そこで検討が終わるわけではなく、将来的には中学校を1つにすることを視野に

問

若宮町内会では民生委員が主体となり、62世帯のうち18世帯の高齢者を「避難行動要支援者（1人暮らしで要介護度3以上）」として名簿に登録している。自力で避難できない世帯が全体の3分の1を占め、昼間は仕事で留守という家庭が多い地域では、日頃からどのような対策をすればよいか？

答

森町全体で高齢化が進む中、要支援者に対する支援を出来る人が少ないことは他の町内会からも聞いている。支援を必要とする人が明確に



若宮町内会のみなさん（若宮公民館）

なっていないと、避難が遅れる可能性がある。町では各町内会長や民生委員に依頼し、要支援者台帳を作成している。今後も高齢化はさらに進んでいくため、各地域でも、日頃からの声かけや見守り活動をお願いしたい。

町では「避難準備情報」と「高齢者等避難開始」として、災害が起きる前にお知らせするので、早めに対応することで人的被害を未然に防ぐということを考えていただきたい。

問

7月の台風21号では森町として初めて「避難準備情報・高齢者等避難開始」が出された。私たちの指定避難所は飯田小だが、今回は飯田防災センターのみが避難所として開設された。なぜか？

答

各町内会ごとに指定している避難所は大規模地震を想定して設定したものである。今回のケースは「どこで被害が起きるかかわからないため、避難に時間がかかる人はあらかじめ逃げておくべき」というご案内のもと、各地区ごとに1箇所を指定して避難所を開設し、避難準備情報を出

問

9月23日の朝日新聞の第一面に、北海道下川町の「まち再生へ森林フル活用」という記事が掲載された。森町も森林が多いので、この豊かな地域資源を活用して、木質バイオマス発電・小水力発電など小さな会社でも起業しやすい仕組みを考えたかどうか。山を利用した地域活性化については是非検討してほしい。

答

森町の面積の約7割は森林であり、この資源を上手に活用することは、森町の特性を活かすことでもある。平成31年度から森林対策のための地方財源となる「森林環境譲与税（仮称）」が導入される予定である。森町にも配分されるので、この財源をいかに上手に使うかが課題となる。さまざまなことに視野を広げながら、森林資源の可能性について検討していきたい。

その他の意見（抜粋）

●森町でも空き家・空き地が多くなっているため、以下3点を提案する。①空き

大河内会

10月12日開催
大河内林業センター
参加者 35名

問

世帯数30戸、人口70人の大河内町内会には65歳以上が54%、5年後には66%以上となる。今後、小中学校が統合されると若い人の流出がさらに進み、10〜20年後先が不安。このままでは、いずれ廃村となる。大河内を存続させるための知恵をお借りしたい。

答

人口減少や高齢化は大河内に限らず、森町全体が抱える問題である。森町は「日本の高齢化の一番先を行っている」と医療・介護の現場で話題になるが、森町の姿が日本

その他の意見（抜粋）

●新しい森町防災ハザードマップで、若宮町内会には洪水浸水想定区域及び土石流の警戒区域とされているが、町では減災対策をどのように考えているか？

●宝くじ社会貢献広報事業「コミュニケーション助成事業」により、屋台の修繕や太鼓を新調した記事が広報もりにまちに掲載されるが、制度をもっとPRすべきでは？

大上・橋・薄場町内会

9月28日開催
大上公会堂
参加者 54名

問

橋・薄場でゴミの不法投棄が増えている。不法投棄や犯罪の抑止策として、防犯カメラを設置したい。防犯灯同様に防犯カメラ設置の補助事業を創設してほしい。

答

防犯カメラについては、犯罪の抑止力となる効果的な設置方法や、どこにどれだけ設置するかなど考えなければならぬ課題がある。県内で防犯カメラ設置の補助を行っているところは3市。実際に補助制度を設けている自治体を参考に、町の負担割合なども検討する必要がある。防犯カメラは犯罪を未然に防ぐというメリットがある反面、プライバシーを監視してしまうと感じる町民もいるため配慮が必要。今後、防犯カメラ設置に関する町内会からの要望が多ければ、補助制度を検討していきたい。

問

陣屋峠から大洞院門前までの道路は、舗装が荒れてデコボコになっているほか、町民の森北ゲート東側に崩落箇所がある。この道路は、小国神社と大洞院を結ぶ観光道路であるとともに上橋の生活道路であるため、できるだけ早い改修をお願いしたい。

答

道路の舗装については、各町内会から要望をいただいております。建設課で現場を見ながら傷みの激しい箇所

問

大河内簡易水道は、水源地が急峻な場所にあり、私たちも高齢化してきて見回りが大変。自然流下式でなく、ポンプアップで管理がしやすい簡易水道を整備してほしい。良い施設ができれば、組単位や個人で水道を引いている人も仲間に入りたいと聞いている。

答

大河内・三倉・大久保の簡易水道のほか、もっと小規模な水道がたくさんあって、根本的に何とかしなければならぬことは充分承知している。ただし、簡易水道の整備を料金収入として水道料金の中でやれるかというと、なかなか大変なことである。国で「地方創生」と言っているからには、そういったところも国の方で助けていただきたい。地元国会議員を通じて、地域の切実な声を国に届けていく必要があると考えている。我々も努力するので、地元皆さんもご協力をお願いしたい。

その他の意見（抜粋）

●車が運転できない高齢者でもインターネットがあれば買い物出来るので、光回線などのインフラ整備を検討してほしい。

●昨年の冬は簡易水道のパイプが凍結して水を運んでもらえたが、毎年運んでもらえるのか？

●先日の火災では通報から消防車の到着まで30分かかった。40t耐震性防火水槽と水道水のタンクを併用で作ることはできるのか？

●後継者がいないと多額の事業資金を借りるのが不安。過疎地域・中山間地域で農業などを行う際の小口融資や、補助制度があるかどうか教えてほしい。

「森町を語る会」の開催については、各町内会長をはじめ、地域の皆さんにご協力をいただき、大変ありがとうございました。



大上・橋・薄場町内会のみなさん（大上公会堂）



男女共同参画社会 の実現を目指します



登録証を受け取る太田町長(左)

県が提唱する「男女共同参画社会づくり宣言」に依って、職場内での取り組みを宣言した森町役場に10月15日、県から登録証が手渡されました。森町役場では「男女が共に働きやすく、その能力を十分に発揮できる労働環境づくり」など3項目の取り組みを掲げ、職場での男女共同参画を推進します。太田町長は「この登録を契機に、町内でも宣言事業を増やしていきたい」と語りました。町内では、これまでに森町病院や建設会社など森町役場を含めて6件が登録されています。

チューリップで 花いっぱい为学校に



教育長に目録を手渡す村松会長(中央)たち

森町ライオンズクラブ(村松藤雄会長)は10月22日、教育委員会を訪れ、町内の保育園や幼稚園、小中学校にチューリップの球根2,880個を寄贈しました。昭和52年から「花いっぱい運動」として同クラブが毎年続けている活動です。村松会長は「良い花を咲かせて、子どもたちが元気に成長することを願います」と目録を手渡すと、比奈地教育長が「毎年、色とりどりの花が新入生をあたたく迎えてくれています。心を込めて育てます」とお礼の言葉を述べました。

遠江総合高校10周年 さらなる飛躍を誓う



▲▶母校である同校で、記念講演と書道の実技を披露した杭迫樹氏

県立遠江総合高校で10月10日、創立10周年記念式典が開かれました。森高校と周智高校を統合し、平成21年4月に開校した同校は、県内6番目の総合学科高校として、昨年度までに1,925人の卒業生を送り出しています。式典では、生徒らが「10年のあゆみ」と題して同校のこれまでの取り組みを紹介したほか、森町出身で日本を代表する書家・杭迫樹氏による記念講演や書道の実技が行われました。

川勝平太知事が地域住民と大いに語る 知事広聴「平太さんと語ろう」開催

川勝知事が地域に出向いて県民と語り合う「平太さんと語ろう」が10月18日、森町文化会館小ホールで開催されました。各方面で活躍する、森町と袋井市の住民代表6人が、知事と意見を交わし、町民など約130人が耳を傾けました。森町からは3人が登壇し、それぞれの立場から、地域の現状や課題を訴えました。



地域の課題や県への要望を聞く「平太さんと語ろう」

新規就農者の早川幸恵さんは「森町のような小さな町でも誇りを持ち、輝き続けられるような支援を要望し、森町地域おこし協力隊の岩瀬進哉さんは「地域が主体となり、行政とどう協力していくかが活性化につながる」、森町組合長の中島基さんは「森町産の農産物にこだわった菓子づくりで、地域の魅力を伝えたい」と力強く述べました。



新規就農者
早川幸恵さん
(黒石)



森町
地域おこし協力隊
岩瀬進哉さん
(新町)



森町菓子組合長
中島基さん
(栄町中)

もりまちからの情報発信!

町では、10月20日・21日の2日間、東京都江東区で開催された「江東区民まつり」に森町ブースを出店し、都会に住む人々に遠州の小京都・森町をPRしました。新東名の開通で交通アクセスが向上した首都圏からの観光誘客を増やし、移住促進を図ることが目的で、今年で3回目の出店となります。森町のお茶や和菓子、クラウンメロン、次郎柿など特産品の試飲・試食・販売では、行列が出来るほどの盛況ぶりです、今年も多くの方々が森町ブースに訪れました。



2日間を通して、大盛況となった森町ブース

江東区民まつりで
森町の魅力をPR

豊田合成(株)が
防犯パトロール



防犯パトロールを実施した社員の皆さん

豊田合成(株)森町工場は10月22日、車両による防犯パトロールを実施しました。同社の社会貢献の一環として、平成24年度から続けている活動です。青色の誘導灯を片手に、夕暮れ時でも目立つ色のジャケットを着用した社員の皆さんは、道行く人々に優しく声を掛けながら、約1時間をかけて町内6箇所の公園を巡回しました。参加者の1人は「地道な活動だが、犯罪の未然防止につながればうれしい」と話していました。

すくすく育て！
森っ子たち



右から 幸田さん親子、竹中さん親子、太田町長

10月1日、今年7月～8月に生まれたお子さんと保護者を保健福祉センターに招き、森っ子出産祝い金の贈呈式を行いました。この日、訪れたのは幸田佳奈美さん・凜ちゃん(3ヶ月)、竹中綾奈さん・花ちゃん(3ヶ月)の2組の親子です。2人の可愛らしい赤ちゃんとともに第1子。幸田さんは「町を挙げて、子どもの誕生をお祝いしてくれる制度は大変ありがたい」、竹中さんは「いただいたお祝い金は、娘のために大切に役立てたい」とそれぞれに喜びを語りました。

東京都の品評会で
森の茶商が上位独占



左から 太田町長・鈴木さん・安井さん・松浦さん・太田さん

第48回東京都優良茶品評会において、好成績を収めた4茶商が10月18日に役場を訪れ、太田町長に受賞報告を行いました。仕上げ茶1キログラムの「都の華」部門では(株)鈴木長十商店が1等1席となり、7年ぶり2度目の農林水産大臣賞に輝いたほか、(株)八幡屋茶舗が1等3席、1キログラムの「都の誉」部門は(株)鈴木長十商店が1等2席、1キログラムの「都の香」部で松浦

森町総合体育館で10月15日、「住み慣れた森町で暮らすための社会参加を考える集い」が開かれました。講師を務めた(公財)さわやか福祉財団の堀田力会長は「いくつになっても、自分の能力を生かし、いきいきと社会参加してほしい。地域の居場所を広げていくことが助け合いの基礎となる」と訴えました。



講演する堀田会長

住み慣れた森町で
元気に暮らすために

製茶(株)が1等2席(有)太田茶店が1等3席と森町の茶商が上位を独占しました。(株)鈴木長十商店の鈴木洋太郎専務は「東京の消費地では、いかに良い茶を仕入れ、高い技術で仕上げていくか、全てが要求される。今後も生産者や従業員と力を合わせ、良質な茶作りに励みたい」と意気込みを語りました。

森町SPICEワークショップ



森町オリジナルカレーを作る参加者たち

森町SPICEワークショップが10月13日と14日、ゲストハウス「森と町」で開催され、21人が参加しました。小値賀島地域おこし協力隊のミゾバタユウコさんと森町地域おこし協力隊の岩瀬進哉さん、神崎悠輔さんの3人が主催。ミゾバタさんのご指導のもと、森町の塩麴や猪肉、ニンニクなどを使ったカレー作りに挑戦。食後は神崎さん特製の抹茶のチャイを楽しみました。

移動児童館で楽しく交流



自由遊びで皿回しに挑戦

児童館では10月24日、宮園小学校で移動児童館を開催しました。児童館まで遠く十分に利用できない子どもたちに楽しく遊べる居場所づくりとして、森小学校を除く各小学校へ毎週巡回しています。今回は地域ボランティア5人のご協力で「ゆみ」を作り「段ボールフリスビー」で遊んだほか、「皿回し」などの自由遊びを満喫。児童たちは、異学年の友達とも交流できる貴重な体験を楽しみました。

大きなサツマイモがとれたよ！



高校生と協力してイモ掘り体験をする森小2年生

遠江総合高校の農場で10月12日、同校食品園芸系列の3年生32人と森小学校2年生65人の児童らがサツマイモ収穫体験を行いました。高校生たちは小学生たちに「イモを折らない、スコップを刺さない」など収穫のコツを伝えてイモ掘りをスタート。手でいねいに土を掘り起こしサツマイモを探し当てると、児童らは「こんなに大きいのとれたよ!」と声を上げ、高々と持ち上げて笑顔を見せました。

みんなで描いた記念の壁画



児童たちが壁画を描くようす

今年で統合50周年を迎える三倉小学校は10月15日、絵本作家のスズキコージさんを迎え、全校児童17人とともに正門東側にある壁画に、色とりどりの絵の具で記念の壁画を完成させました。児童たちは動物などを描き、手形を残しました。スズキさんは入ってきた人を迎えるように独自のキャラクターを描画。児童たちは「自分たちが描いた絵がこの先も残るのがうれしい」と壁画の完成を喜びました。



中学生たちが職業体験



品出し作業に取り組む旭が丘中学生

9月から10月にかけて、泉陽中・森中・旭が丘中の2年生たちが職業体験を行いました。ユニー(株)ピアゴ森店では、生徒たちが品出しなどの作業に取り組みました。ご協力いただいた町内の各事業所で、社会の仕組みやマナーなどを学び、勤労の尊さを実感。生徒からは「働くことは大変。お客様との接し方が大切なので、社会人になったら学んだことを生かしたい」との感想が聞かれました。

支え合いの輪を広げよう



ミニ手話講座で手話体験

ふれあいまつり実行委員会は10月14日、福祉への理解を深める「2018もりふれあいまつり」を総合体育館で開催しました。バザーや輪投げ、もち投げのほか、ステージでは摩耶保育園児による祭りばやしや三木の里手話サークルによる手話講座、森町病院によるリハビリ体操を披露。手話講座で来場者たちは、指文字を使って自分の名前を伝えるなど、手話の魅力に触れていました。

文化の秋!森町民文化祭



茶道・黄檗弘風流の皆さんが来場者に煎茶をおもてなし

第39回森町民文化祭が10月27日と28日、文化会館で開かれ、森町文化協会に加盟する文化・芸術団体などが日ごろの活動成果を発表しました。小ホールなどでは華道や絵画、書などの作品231点が並び、大ホールでは24団体が合唱や大正琴の演奏、舞などの演目を披露。来館者は、多彩な作品に立ち止まってじっくり鑑賞したり、華やかなステージ発表に拍手を送ったりと、文化の秋を楽しみました。

元気いっぱい稲刈り



はぜ掛けに挑戦!(宮園小)



稲刈りしたよ!(一宮幼)

宮園小学校では10月12日、一宮幼稚園では24日に稲刈りを行いました。宮園小学校では米作り名人の小澤良吉さんから、一宮幼稚園では一宮地区水と環境を守る会の方のご指導のもと、稲刈りを体験。お米の成長を喜び合い、自然の恵みに感謝する経験をしてもらいたいと、毎年開催されており、それぞれ夏に自分たちで植えた稲を鎌で刈りました。生徒・園児たちは元気いっぱいに稲刈りを行いました。

移住
定住促進

町内に空き家・空き地
をお持ちの方へ

空き家・空き地バンクに登録をお願いします

町では、空き家などの有効活用や移住定住の促進を目的に「空き家・空き地バンク」を開設しています。この制度は、町内にある適切に管理された空き家や空き地の物件情報を、町がホームページなどを通じて情報提供する仕組みです。

町内に空き家や空き地をお持ちの方は、物件の利活用手段として、ぜひバンクへの登録をご検討ください。



① 賃貸・売却物件の登録申し込み

登録を希望される所有者は、町に登録申込書を提出してください。登録希望者が所有者でない場合や、共有物件である場合などは、委任状が必要です。

② 物件の調査依頼

町は町と協定を結んでいる宅建業者に申し込みがあったことを連絡し、物件調査を依頼します。

③ 物件の調査

宅建業者が現地確認を行います。

④ 空き家や空き地情報の提供

町は物件情報を確認し、バンクへの登録完了を登録希望者に通知するとともに、町ホームページなどで物件情報を公開します。



▲空き家バンクへの登録で
空き家の有効活用が図られます

町内の空き家の現状と
空き家バンクの活用について

平成28年度に町が実施した空き家等実態調査では、森町全域に505戸の空き家候補があり、そのうち所有者が利活用を希望している空き家は152戸あることがわかりました。

一方で、空き家・空き地バンクの登録物件数は、平成29年度が7件（成約1件）、平成30



宅地として利用できる土地をお持ちの方は、ぜひご登録をお願いします。

年度が登録7件（成約1件・10月末時点となっています。町への移住相談も年々増加しています（※図1参照）。

移住希望者の住まい探しの選択肢を増やすという面からも、町内に一戸建ての家や



空き家に関する相談に専門家が対応

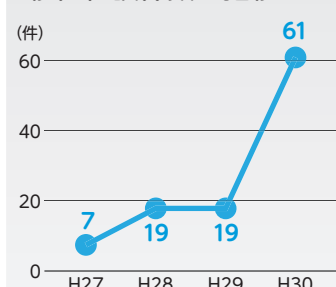
空き家の無料相談会を開催しました

静岡県が主催する「空き家の無料相談会」が10月27日、町民生活センターで開催されました。「相続した空き家を売却したいけど、何をすればいいかわからない」など、当日は21組の参加者から様々な相談が寄せられ、専門家が応じました。町では今回の相談会開催にあたり、町内の空き家所有者約450人に案内状を送付しました。

お問い合わせ先
役場定住推進課移住交流係
0851-6321

（図1）

移住相談件数の推移（森町）





三倉地区

▲10月27日、3町内の屋台が許禰神社例祭に舞児を送り届ける屋台行列「舞児迎え」に参加しました(舞児は三倉小2年の増井柚香さん)



天方地区

▲10月6日、JA天方支店前で迫力ある「五社練り」が行われ、多くの見物客でにぎわいました。(森町広報モニター/小澤洋一氏撮影)



若さあふれる! 円田町内会(瑞雲社)の若衆たち



園田地区

▲10月7日、園田防災センターに6町内の屋台が集まり、若衆らが威勢良く体をぶつけ合いました。



睦実地区

▲10月7日、賀茂神社で5町内による舞児迎えが行われ、厳かに舞児を送り届けました。

練習で振りを覚えるのが大変でしたが、わかりやすく教えてくれたので、本番では無事に舞を奉納することができました。舞児還しは緊張しましたが、一生の思い出に残る良い経験になりました。このような経験が出来るのは、地区の皆さんのおかげでもあります。本当にありがとうございました。

一生の思い出になりました!



賀茂神社例大祭の舞児を務めた
安藤一華さん(旭ヶ丘中3年・南戸綿)



元気いっぱい! 園田地区の子どもたち



今年もインフルエンザの流行が始まりました

◎インフルエンザを予防しましょう

▶外出時にはマスクをしましょう

インフルエンザウイルスはとても小さくて、マスクを通り抜けてしまいますが、ウイルスだけで空中にふわふわと漂っているわけではなく、鼻みずや唾液の“しぶき”の中にウイルスが潜んでいます。この“しぶき”はマスクで十分にブロックできます。



▶手を洗いましょう

インフルエンザが流行する時期には、身の回りのいたるところにウイルスがいます。みんなが手で触れるようなところ、例えば、ドアのノブとか…。手で触れることでウイルスが付きます。ウイルスが付いた手で



口や鼻を触ることによってインフルエンザウイルスが体内に侵入します。こまめに手を洗うことでウイルスの侵入を防ぐことができます。

▶予防接種を受けましょう

予防接種は重症化を予防する効果があることがわかっています。今年も医療機関でのインフルエンザの予防接種が始まりました。インフルエンザワクチンの接種をぜひご検討ください。



◎インフルエンザにかかってしまったら

咳エチケットをお願いします。
咳エチケットとは次のことを言います

- ① かぜやインフルエンザにかかって咳やくしゃみが出る人がマスクをすること
- ② マスクをしていない時に咳やくしゃみが出る場合にはハンカチやティッシュで口と鼻を覆うこと
- ③ ハンカチやティッシュがない時には上着の内側や袖で口と鼻を覆うこと



秋には、たくさんのお米が取れたよ!

里山の魅力を味わう「田んぼ農業体験」
私たち地元有志は、都会に住む皆さんを天方地区の田園にお招きして、「田んぼ農業体験」を行っています。
清流・吉川が流れ、小高い山々に囲まれた里山で土を触り、澄んだ空気や風を感じてもらおうことで、街で暮らしては感じられない発見をってもらうのが目的

森町広報モニター

斎木 薫さん(鍛冶島)



広報モニターの

まちがどろりぽーと

です。横浜市など県内外から多くの参加があり、春は親子で泥んこになりながら苗植え、夏は畦道の草刈り、秋にはたわに実った稲穂の収穫を私たちと一緒に楽しんでいただきました。
人口減少・少子高齢化が進む中で、天方地区はこのままでいいのかという思いがあります。今後地域の方々と力を合わせ、「あまがた」の魅力や可能性を再確認しながら、里山での営みを後世に引き継いでいきたいと思っています。



親子で力を合わせて「苗植え」を体験したよ!



食推協おすすめメニュー♪



森のレシピ

柿とほうれん草の くるみ白和え

(4人分) 120キロカロリー 塩分0.4g

町の特産品の柿を使用した料理を紹介します。

食推協レポート

森町健康づくり食生活
推進協議会(食推協)
会員

北島美代子さん
(円田)



柿は、そのまま食べておいしいのはもちろんですが、料理に使ってもおいしくいただけます。

白和えは、柿とほうれん草の色どりが良く、くるみが入ることにより楽しい食感になりお箸が進みます。

柿はビタミンCが豊富なため、抗酸化作用・風邪予防に効果が期待され、しっかり摂りたい果物と言えるでしょう。



材料(4人分)

木綿豆腐……………1/2丁
ほうれん草……………1/2束
柿……………1/2個
くるみ……………30g
すりごま……………大さじ1/2
砂糖……………大さじ1/2
醤油……………大さじ1/2



作り方

- 1 木綿豆腐を水切りする。
- 2 ほうれん草を熱湯でゆで、冷水にとる。水けをよく絞り、2cm程度に切る。
- 3 柿は拍子木切りにする。くるみは粗みじん切りにして、フライパンで空炒りする。
- 4 ボウルにAを混ぜ合わせ、全ての材料を混ぜ合わせる。



子育てコーナー

森町子育て世代
包括支援センターを
ご利用ください!

妊娠中や子育て中には大変なことや不安なこともたくさんあると思います。でも大丈夫!ひとりで悩まないで!子育て世代包括支援センターには専任の「母子保健コーディネーター」がいます。母子保健コーディネーターは、妊娠期から出産、子育て期までの妊産婦さんやご家族の様々な相談に応じ、安心子育てをサポートします。どんな些細なことでも大丈夫です。どうぞ、お気軽にご相談ください。



場 所 役場保健福祉課(保健福祉センター内)
時 間 月～金 9:00～16:30
(祝日・年末年始は除く)
問 森町子育て世代包括支援センター
☎85-6330

新しい仲間を紹介

わが家のアイドル



ゆうと
相羽佑音くん→
(1歳)
(北戸綿)

いっぱい笑っていっぱい食べて、イイイイもいっぱいです…
毎日家族を和ませてくれます!!



ゆかり
山崎 紫くん
(7か月)
(草ヶ谷)

祝☆初つかまり立ち!
これからもすくすく
育ってね♪



写真大募集!

広報もりまちでは子どもの写真を募集しています。
この機会に、お子さんを「広報紙デビュー」させてみませんか。

申・問 役場企画財政課広報統計係(電話85-6306)
メール kouho@town.shizuoka-mori.lg.jp



健康・医療 12月

夜間・休日救急
公立森町病院 ☎85-2181

家庭医療クリニック巡回診療
☎85-1340
●上野平公民館(上野平)
14日(金)9:00～11:00受付
●三丸会館(三倉大久保)
28日(金)9:00～11:00受付

健診・講座・講演会など

●ボディートークを楽しむ会
11日(火)13:30～15:30
所 保健福祉センター
問 保健福祉課保健係
☎85-6330

●Let's Enjoyポールウォーキング
「吉川キャンプ場～友田家」
中級コース

11日(火)9:30～13:30
集合場所 森町保健福祉センター
問・申 地域包括支援センター
☎85-6341

●森アリーナトレーニング教室

5日(水)、12日(水)、
19日(水)、26日(水)
14:00～15:30
定員 5名
対象 65歳以上の方
所 森アリーナトレーニング教室
問・申 地域包括支援センター
☎85-6341

おでかけ・催し 12月

●森のKトラ市

22日(土)9:30～12:00
所 保健福祉センター駐車場
問 森のKトラ市実行委員会
(商工会内) ☎85-3126

●古着市

16日(日)8:30～15:00
所 天竜浜名湖鉄道遠州森駅
問 遠州木三の里連
☎090-1472-6189



夜間の窓口開庁 12月

●開庁日時

5日(水)、12日(水)、
19日(水)、26日(水)
19:00まで

●住民生活課

戸籍・住民票・印鑑証明書・旅券の
交付など
※転入・転出などの住所異動の手続きは
できません。

問 役場住民生活課 ☎85-6312

●税務課

所得・課税証明、納税証明の発行など
※固定資産・法人関係等の証明は発行で
きません。

問 役場税務課 ☎85-6308

Go!Go! アクティ森
～とっておきの情報を紹介～



干支の置物づくり

年末のアクティ森では、来年飾れ
る陶芸「干支の置物づくり」(体験料
2,000円)をご案内します!

来年の干支は亥ですね!オリジナル
の亥をつくって、来年1年を一緒
に過ごしましょう♪

12月の期間限定体験ですので、
この機会にぜひおこしく下さい!

問 アクティ森 ☎0538-85-0115(水曜定休)

ミキホール公演ガイド

東建コーポレーションPresents
中村雅俊コンサートツアー2018
ON and ON Vol.2
～Acoustic Unit～

11/24
土



開場 15:00 開演 15:30
ところ:森町文化会館 大ホール

— 入場料(税込) — チケット好評発売中!

全席指定 友の会 5,500円
一般 6,000円

※未就学児の入場はご遠慮ください 主催:森町ミキホール文化振興会

トワエモワ コンサート
～青春の贈りもの～

12/15
土



開場 14:00 開演 14:30
ところ:森町文化会館 大ホール

— 入場料(税込) — チケット好評発売中!

全席指定 友の会 4,300円
一般 4,800円

※未就学児の入場はご遠慮ください 主催:森町ミキホール文化振興会

なごみーず
アコースティックナイトin森町

2/9
土



大野真澄・太田裕美・伊勢正三
開場 15:30 開演 16:00
ところ:森町文化会館 大ホール

— 入場料(税込) — チケット好評発売中!

全席指定 友の会 5,300円
一般 5,800円

※未就学児の入場はご遠慮ください 主催:森町ミキホール文化振興会

上記公演のチケット
のお求めは…

森町文化会館(85-1111)/袋井市月見の里学遊館(49-3400)/磐田市文化振興センター(35-7133)/磐田市情報館(38-3974)/兵藤楽器店掛川本店(0537-23-0245)/アクトシティ浜松チケットセンター(053-451-1130)/チケットぴあ 電話0570-02-9999 Pコード (中村雅俊:116-715 トワエモワ:123-197 なごみーず:129-706)

※チケット取扱時間などは各販売所にお問合せください。 ※各公演の出演者・内容などは、都合により変更する場合がありますので、ご了承ください。

問 森町文化会館 ☎85-1111 (取扱時間9:00～17:00、月曜休館) ※月曜日が祝日の場合は火曜日以降の平日が休館日



相談 12月

●特設人権相談 所 町 問 住
5日(水) 10:00～15:00

●年金相談(要予約) 所 保
19日(水) 9:30～12:00
問 掛川年金事務所
☎0537-21-5521

●心配ごと相談 所 保 問 社
3日(月)、17日(月) 9:00～12:00

●森町成年後見制度相談所(要予約)
4日(火) 13:30～16:00 所 保 問 社

●結婚相談 所 保 問 社
9日(日) 9:00～11:30

●障がい等地域生活相談室
(要予約)(知的・発達障がい)
14日(金)、27日(木) 9:00～16:00
所 保 問 保

●消費生活相談
水曜日は消費生活相談員駐在
平日 8:30～17:15
所・問 役場産業課
☎85-6319

●暮らしの何でも相談(電話相談)
平日 9:00～17:00
ライフサポートセンター中東遠事務所
☎33-3715

所 町 町民生活センター
保 保健福祉センター

問 住 役場住民生活課 ☎85-6312
保 役場保健福祉課 ☎85-1800
社 社会福祉協議会 ☎85-5769



子育て 12月

健診・相談
所 保健福祉センター
問 役場保健福祉課 ☎85-6330

●予防接種のしおり交付
3日(月) 受付 9:15～9:30

●6か月児相談
7日(金) 受付 9:00～9:30

●1歳6か月児健診
5日(水) 受付 13:15～13:45

●2歳児相談
14日(金) 受付 9:00～9:30

児童館イベント情報
☎85-2839 月曜休館

●おはなしぶんこ
毎週土曜日 10:30～11:00
(15日を除く)

●作ってみよう
1日(土) 14:30～15:00

●移動児童館(飯田小)
5日(水) 15:00～16:15

●絵手紙教室
8日(土) 14:30～15:00

●移動児童館(天方小)
12日(水) 14:30～15:45

●クリスマス会
15日(土) 14:00～15:30

●移動児童館(三倉小)
19日(水) 14:30～15:45

●お楽しみゲーム大会
22日(土) 14:30～15:00

●年末の休館
29日(土)～31日(月)

子育て支援センターイベント情報
☎85-2839 月曜休館

●森のくまさん広場
毎週水曜日 11:00～11:30

●すくすくクラブ
6日(木) 10:00～11:00

●リトミックランド
14日(金) 10:30～11:30

●のびのびクラブ
20日(木) 10:00～11:00



納税など 12月

——(納期限12月25日)——

固定資産税・都市計画税…第3期分
国民健康保険税……………第6期分
介護保険料(普通徴収)…第5期分

——(納期限1月4日)——

後期高齢者医療保険料(普通徴収)
……………第5期分

図書館 新刊情報

一般書 「ママが楽になる絵本レシピ31」
景山 聖子著 小学館

育児は苦労の連続。そんな時、絵本を読むだけで子どもが素直になり、問題が解決する! 元テレビ局のアナウンサーが、親子の時間が豊かになる絵本の読み聞かせ方法を紹介する。

一般書 「ウェディングプランナー」
五十嵐 貴久著 祥伝社

ウェディングプランナーの草野こよりは新郎新婦に寄り添って10年、ついに自分の結婚式を迎えることに。だが、心の中は不安で一杯、気がつけばマリッジブルーになってしまい…。

ヤングアダルト 「ヤング・シャーロック・ホームズ vol.4 炎の嵐」
アンドリュー・レーン著 静山社

家庭教師のクロウとその娘バージニアが行方不明になった。残された手がかりから、ふたりを追走するシャーロックに、凶悪な魔の手が襲いかかり…。少年シャーロック・ホームズの冒険第4弾。



☎森町立図書館 ☎85-1113 (9:00～17:00 水曜のみ19:00まで。月曜休館)
※月曜日が祝日の場合は火曜日以降の平日が休館日

くらしのヒント

毎年12月3日から9日は

「障害者週間」です

平成28年4月から、全ての人が障がいの有無によって分け隔てられることなく、互いの人格と個性を尊重し合いながら共生する社会を目指して、「障害者差別解消法」が施行されています。この法では、官公庁や民間事業者による「障がいを理由とした差別」の禁止や「合理的な配慮」を行うことなどについて定めています。

障がいを理由とする差別をなくするためには、みなさん一人ひとりが「心のバリアフリー」についてもう一度考える事が大切です。互いを尊重し、支え合うことですべての人が共に生きる共生社会の実現を目指しましょう。



ホームページ参照。
問・申 東海アクセス看護専門学校
 総務課入試担当
 ☎43-8111
 〒437-0033 袋井市上田
 町267-30
 URL <http://axis-ns.jp/>

催し

第16回袋商ショップを開催します

高校生が仕入れから販売まですべてを行い、野菜から車まで良品を安価にて販売します。どなたでもご来店お待ちしております。

と き 12月8日(土)、9日(日)
 両日とも9:00～15:00
ところ 袋井商業高等学校
 (袋井市久能2350)
駐車場 ヤマハ発動機(株)駐車場
 (無料送迎バスあり)
内 容 食料品、衣料品、陶器、家電製品、自動車などの販売。食堂、喫茶、イベント(働くクルマ等の展示)、ちびっ子広場など。

問 県立袋井商業高校
 ☎42-2285

「地域で子育て講演会」参加者募集

県では自身の子育て経験を活かし、地域で子育てを応援するきっかけづくりを目的とし、まあせんせいこと菊池政隆先生の講演会を開催します。

と き 12月13日(木)
 13:30～16:00
 (開場13:00)
ところ 静岡県男女共同参画センターあざれあ6階大ホール
その他 定員300名、参加は事前申込制、参加費無料、託児サービスあり
申込期限 11月26日(月)必着
 ※先着順
申込方法 県子育て支援ポータルサイト「ふじさんっこ子育てナビ」応募フォームからお申し込みください。
<http://chiiki-kosodate.jp>
問 (株)SBSプロモーション静岡営業部内「地域で子育て講演会」事務局
 ☎054-260-6911



申し込みはこちらから!

11月～12月は滞納整理強化月間です

森町を含めた県内すべての市町では、税の公平・公正を確保するため、11月と12月を「滞納整理月間」と定め、連携して徴収対策を強化しています。

納付がまだの方は、金融機関または税務課で早めに納付をしてください。

まずは
相談を!



やむを得ない事情や家庭の事情など、いろいろな問題で納期限までに納めることができない場合は、お早めに税務課へ相談してください。

問 役場税務課納税係
 ☎85-6310

11月は『児童虐待防止推進月間』です

～児童虐待は社会全体で解決すべき問題です～

児童虐待は、子どもの心身の成長及び人格の形成に重大な影響を与えるとともに、次の世代に引き継がれるおそれがあるもので、子どもに対する最も重大な権利侵害です。

児童虐待かもと思ったら、すぐに連絡を!

虐待を受けたと思われる子どもがいたら下記相談機関に連絡してください。相談者の秘密は守られますので、安心してご相談ください。



●相談機関

・森町役場保健福祉課
 (月～金8:30～17:15)
 ☎85-6330
 (夜間休日)☎85-2111
 ・児童相談所
 全国共通3桁ダイヤル
 ☎189(いちばやく)
 24時間365日対応

12月2日は地域防災の日

県下一斉に地域防災訓練が実施されます。町でも、同報無線で地震発生をお知らせします。皆さんも自主防災会(町内会)の訓練に参加しましょう。

- 森町地域防災訓練 -

実施日 12月2日(日)
 「地域防災の日」
 訓練想定 地震発生8:00
 訓練終了 12:00頃

問 役場防災課防災係
 ☎85-6302



お知らせ

平成30年 住生活総合調査にご協力をお願いします

12月1日、全国で住生活総合調査が行われます。住生活の安定・向上に係る総合的な施策を推進する上で必要な調査ですので、ご協力をお願いいたします。

対象 10月に実施した住宅・土地統計調査にご回答いただいた世帯の中から抽出された世帯

調査方法 調査の対象となる世帯には、11月下旬からポスティングにより調査票を配布し、郵送・オンラインにより回収します。

問 役場定住推進課住まい支援係
☎85-6321

県民手帳を販売しています

2019年版県民手帳を来年1月まで販売しています。1月始まり、見開き1週間の手帳で、統計やイベントなどの便利な情報も掲載されています。

価格は大型版と表紙が富士山の特装版が700円、小型版が600円です。

ご希望の方は、現金引換えでお渡ししますので、直接、役場2階企画財政課または県内販売書店までお出かけください。

問 役場企画財政課広報統計係
☎85-6306

エンジョイ!ハンティング 大自然に挑戦してみませんか!?

狩猟免許試験を次のとおり実施します。

試験日 平成31年2月17日(日)
9:00~

試験会場 北遠総合庁舎
(浜松市天竜区二俣町鹿

島559)
申込期間 12月17日(月)~
平成31年1月18日(金)
申込先 中遠農林事務所森林整備課 ☎37-2301
手数料 5,200円(静岡県収入証紙)
(一部免除者3,900円)

※平成31年1月19日(土)に静岡労政会館で開催される(社)静岡県猟友会主催の予備講習会(申込期限12月14日(金))に参加することをお勧めします。

問 役場産業課林政係
☎85-6317

林業退職金共済(林退共)からのお知らせ

林業の仕事をしていたことはありませんか?林退共制度の加入者で、退職金をまだ受け取っていない人を探しています。林退共へ加入していたか分からない人についてもお調べします。各種手続き(共済手帳の紛失、退職金の請求など)が必要な場合は、お問合せ・ご相談ください。

問 (独)勤労者退職金共済機構
林業退職金共済事業本部
☎03-6731-2887

知っていますか? 建退共制度

建退共制度とは、建設業を営む事業主の方々が、労働者の働いた日数に応じて掛け金となる共済証紙を共済手帳に貼り、その労働者が建設業界で働くのをやめた時に建退共から退職金を支払うという退職金制度です。

問 建退共静岡県支部
☎054-255-6846
建退共本部ホームページをぜひご覧ください。

募集

「森町こどもの舞台フェスタ」 参加団体募集

平成31年3月10日(日)に大ホー

ルで開催する「第23回森町こどもの舞台フェスタ」に参加する町内の団体を募集しています。

申込締切 11月30日(金)

※詳しくはお問い合わせください。

問 森町文化会館
☎85-1111

平成30年度自衛官などの募集

募集種目 (1)自衛官候補生(2)陸上自衛隊 高等工科学校生徒
受験資格 (1)18歳以上33歳未満の者(採用上限年齢が27歳未満から33歳未満に引き上げになりました。)(2)中卒(見込含)15歳以上17歳未満の男子

受付期間 (1)年間を通じて受付(2)平成31年1月7日(月)まで

試験日 (1)12月15日(土)(平成31年2月、3月も実施予定、詳しくはお問い合わせください。)(2)平成31年1月19日(土)(第1次試験)

試験会場 (1)航空自衛隊浜松基地(2)受付時または受験票交付時にお知らせ

問 自衛隊静岡地方協力本部袋井地域事務所 ☎43-3717

東海アक्स看護専門学校 平成31年度入学生募集

募集人数 看護学科(修業年限3年)男女30人程度

受験資格 ①高校を卒業もしくは見込みの人、
②①と同等以上の学力を有すると文部科学大臣が認定した人

出願期間 12月3日(月)~12月18日(火)17:00必着

試験日 平成31年1月10日(木)(学科試験、適性検査)、22日(火)(面接試験)

合格発表 平成31年2月7日(木)
願書請求方法 学校窓口で配布。郵送受付や過去4年間分の試験問題集販売については

人の動き

11月1日現在
()内は先月比

世帯数 6,580世帯(+3)

人口 男 9,173(+6)

女 9,285(-9)

計 18,458(-3)

スマホアプリで 広報もりまち配信!!



マティロ

ダウンロード
はこちらから

検索

※ アプリは無料ですが、通信費は別途発生しますのでご注意ください。

▼ゲストハウス「森と町」で開催された森町SPICEWORKシヨップ。町産の食材を使ったオリジナルカレーは、さまざまなスパイスが効いていて絶品。食後には神崎さん特製の抹茶のチャイを飲みながら会話を弾ませました。次回のワークシヨップが楽しみです。

▼書家を志して京都に渡り、自らの生きる道を邁進されている書家・杭迫柏樹氏。遠高の記念式典で披露した書の実演には思わず息を飲みました。母校の為にしたためた「感謝」と「飛躍」の文字に故郷森町を慕う一途な想いを感じます。

編集後記
キーボード



森のいしぽんで
森町を盛り上げたい

木この 木木の人

森のいしぽん作者

日比野 里映さん(仲横町)



©2011 森のいしぽん

アクティ森で念願の
オリジナルグッズ
販売開始



ゆるキャラで地域を
活性化させようと、森
の石松をモチーフにし
た森町応援キャラクター「森のい
しぽん」を学生時代に考案した
日比野さん。社会人になってか
らは有志のメンバーとともに、町
の知名度アップに努めてきまし
た。最初はなかなか認知されま
せんでしたが、応援して下さる
人が少しずつ増え、手応えを感
じていきましたと語ります。

森のいしぽんは、町の公式キャ
ラクターではありませんが、森
のKトラ市や森ほたるのイベン
トキャラクター、交通安全協会
や観光協会によるイベントの啓
発品に採用されるなど徐々に認
知が広がっています。民間企業
による商品開発も進み、町内では
すっかり馴染みの存在に！
今では、町外にも多くのファンを
獲得しています。今年の夏から
は、アクティ森の「よんな市」で手
ぬぐいやキーホルダー、缶バッジ
などのオリジナルグッズの販売
が始まりました。

告知

アクティ森で
森のいしぽんグッズを
ゲットしよう！

イベント期間：12月1日(土)～25日(火)



アクティ森の「よんな
市」で1,000円以上お
買い物をしていただくと、いしぽんオリジナル
マグネットがもらえるよ！

「森町には郷土愛が強い人が
多く、活動を支えてくれること
に本当に感謝しています。森町
に興味を持ち、足を運んでくれ
る人がもつと増えてほしい。
ゆつくり取り組んでいきたいで
すね」と日比野さん。森のいし
ぽんの活躍は、まだ
まだ続きそうです。



アクティ森で森のいしぽんと
記念撮影ができるぽんよ！



茶太郎&森のいしぽんの免許証ケース

お問い合わせは、交通安全協会森地区支部
☎85-4600まで

10月11日、文化会館で交通安全協会森
地区支部の表彰式が行われました。席上では、同支部のキャラクター「茶太郎」と森の
いしぽんがコラボした免許証ケースをデザ
インした日比野さんに、交通安全功労の感
謝状が贈られました。特に高齢者からは
「かわいい」と喜ばれているそうです。町の
アイドル森のいしぽんと茶太郎に心癒さ
れながら、安全運転に心掛けてみては？

交通安全功労で感謝状



日比野さんに感謝状を手渡す岡野良隆支部長